

空調機の省エネ対策をしていますか？

外気温度が高い夏季の冷房運転において、空調機の室外機周辺部では温度が高く室外機より効率よく外気に熱を捨てることができないため冷房能力の低下を招きます。そこで外気温度が高い時に効率よく運転するため、室外機のフィン部に水を噴霧し、フィン部の周囲温度を下げることにより冷房能力を高め省エネを図ります。

対策例

装置導入前



外気温度が高いため、効率よく熱を捨てることができない

装置導入後



室外機のフィン部に水噴霧することで周辺部の温度を下げて熱を捨てやすくなります

効果例

規模	延床面積	10,000m ²	5,000m ²	1,000m ²
	空調機容量	20HP × 25台	20HP × 13台	20HP × 3台
削減電力量		30.3MWh/年	15.1MWh/年	3.0MWh/年
原油換算削減量		6.8kL/年	3.4kL/年	0.7kL/年
CO ₂ 排出削減量		11.8t-CO ₂ /年	5.9t-CO ₂ /年	1.2t-CO ₂ /年
削減金額		約820千円/年	約390千円/年	約60千円/年
(電気代)		約1,390千円	約680千円	約130千円
(水道代)		約+570千円	約+290千円	約+70千円

[試算条件]

- ・建物種別：店舗
- ・空調熱源機：ビルマルチ
- ・空調期間及び時間：3月～11月（定休日：1日/週）、8時～22時
- ・水噴霧期間：7、8、9月
- ・電力契約種別：業務用電力A（6kV）
- ・水道料金単価：521円/m³
- ・原油換算係数：0.223kL/MWh
- ・CO₂排出原単位：0.389t-CO₂/MWh（2021年度実績値（調整後排出係数））
- ・再エネ賦課金単価：1.40円/kWh（2023年度：税込み）
- ・削減金額（税込み）は、燃料費等調整額を含みません。



システム導入のポイント

- ① 風通しが悪いところや室外機設置場所が狭く、熱交換された温風が吹出したと同時にすぐに吸い込まれる状態など、室外機設置条件が悪い場所については水噴霧する事で外気温度が大きく下がりますので、効果が大きくなります。
- ② 水噴霧装置設置により室外機の清掃等のメンテ費用や水噴霧による水の使用量は増加します。
- ③ 水噴霧する水質が良くない場合は、室外機のフィンが腐食する場合がありますため、採用にあたっては、予め水質を確認する必要があります。